

石川県内経済情勢

令和7年7月
財務省北陸財務局

県内経済は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

(注) 7年7月判断は、前回7年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：緩やかに回復しつつある。

百貨店・スーパー販売

飲食料品に動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。

コンビニエンスストア販売

米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

ドラッグストア販売

飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

ホームセンター販売

園芸用品の動きが鈍いことなどから、弱含んでいる。

家電大型専門店販売

携帯電話に動きがみられるものの、能登半島地震の買替え需要の反動がみられることから、持ち直しの動きに一服感がみられる。

新車販売台数

持ち直しつつある。

主要観光地の来訪客数

前年を上回っている。

主要温泉地の宿泊客数

前年を下回っている。

設備投資：7年度は減少見込みとなっている。(法人企業景気予測調査(7年4-6月期調査))

製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。

住宅建設：持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

新設住宅着工戸数でみると、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

公共事業：前年を上回っている。

前払金保証請負金額

前年を上回っている。

生産活動：弱含んでいる。

汎用・生産用・業務用機械

金属加工機械が弱い動きとなっているほか、繊維機械で持ち直しに向けた動きに一服感がみられることなどから、全体では弱い動きとなっている。

電気機械

スマートフォン向けや自動車向けを中心に、弱い動きとなっている。

化学

大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

繊維

衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

企業収益：7年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（7年4-6月期調査））

製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。規模別では、大企業、中堅企業は増益見込み、中小企業は減益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「上昇」超となっている。（法人企業景気予測調査（7年4-6月期調査））

現状判断（7年4-6月期）は、製造業、非製造業ともに「上昇」超となっている。

なお、先行きは、全産業では7年7-9月期、7年10-12月期ともに「上昇」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：緩やかに持ち直している。

有効求人倍率（季節調整値）

上昇している。

新規求人数

前年を上回っている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を下回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を上回っている。

件数、負債総額ともに前年を上回っている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858